

平成28年度森林作業道作設コンクールの開催について ～北上川中流流域森林・林業活性化センター～

1 はじめに

北上川中流流域森林・林業活性化センター(会長 伊藤 達朗 一関地方森林組合代表理事組合長)では、昨年度に引き続き、森林作業道作設コンクールを開催しました。

2 コンクールの概要

コンクールの目的は、優れた技術を用いて作業道を作設した技術者を表彰することで、優良な事例を紹介し、地域の作設技術の底上げを図ることとしたものです。

コンクールの募集は、県南広域振興局管内の林業事業体の推薦とし、今年度は4事業体(4路線)の技術者の推薦がありました。

3 コンクールの審査・表彰

審査は平成28年12月1日に行いました。森林総合研究所東北支所職員など2名の審査委員

による審査の結果、推薦を受けた4事業体すべてが入賞し(下表)、12月2日に表彰式を行いました。



【表彰】

【入賞者一覧】

表彰種類	被表彰者	
	所属	氏名
優秀賞	遠野地方森林組合	菊池 裕
優秀賞	一関地方森林組合	勝部 健一
特別賞	奥州地方森林組合	千葉 明洋
特別賞	花巻市森林組合	藤原 成粹

4 審査結果

審査は、①目的の明確性、②線形の効率性、③施工性、④耐久性、⑤経済性、⑥独自性の観点から行いました。

審査員からは、切高の抑制、横断排水の徹底などの指摘があり、木製構造物の利用による耐久性の向上や経済性の評価で差が生じました。

しかし、どの路線も8月に発生した台風10号の大雨にも耐えた強固な作りをしており、昨年度に比べ数段レベルアップしていました。



【木製構造物(木橋)】

5 森林作業道作設研修会の開催

平成28年12月2日に、コンクール表彰式と併せ、森林作業道作設研修会を開催し、国立研究開発法人 森林総合研究所 東北支所の天野智将氏に「伐採・再造林の一貫作業システムについて」と題して講演していただきました。

センターでは、次年度もコンクールや研修会等を開催し、作設技術の向上に向けて、取り組んで参ります。



【天野氏による講演】